

地域おこし 協力隊 活動日誌

57



■古内 賢
皆さま、こんにちは。
地域おこし協力隊としての3年の任期が3月末日をもって終了し卒業を迎えます。
農業という事で、すっかり生活リズムも変わり、早寝早起きは勿論の事、食生活や肉体労働のおかげで、移住前よりも健康になっている次第です。
協力隊卒業後は、3年間ご指導をいただいた、旭町の旭栄農園さんで従業員として引き続き農業に携わる所存でございます。
芦別に来てから色々ご教授いただいたがたには感謝の気持ちを忘れず、これからもこの街に貢献出来る様、日々精進して参る次第です。
末筆ながら芦別市の皆様には末永いご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

■栗田 順一
皆さま、こんにちは。
3年前の6月に新規就農したいという目標を掲げて地域おこし協力隊となり、当初は慣れない土地と環境で右も左もわからないなか、研修先の皆さま、市役所の皆さま、そのほか多くの皆さまのご支援をいただき、3年間充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございます。
そして、まだいろいろな手続きが残っているのですが、今春からメロン農家として新規就農するという目標に向けて、この3月末を

もって地域おこし協力隊を卒業することとなりました。昨今の気象変動や環境に農業の世界は大変左右される状況にあり、厳しい中での出発になります。日々勉強を続け、今後はメロンの栽培面積を増やしていったりと安定した収入を得られるよう努力していきたいと思っております。新規就農できるまで育てていただいたことに対し、あるドラマのセリフにもありましたが「感謝と恩返し」の気持ちを忘れずに日々過ごしていきたいと思っております。



まだまだ周りの皆さまに助けていただければならないことが、たくさんあると思います。何卒よろしく願っています。

令和3年芦別消防団定例表彰伝達式

「令和3年芦別消防出初式」の式典において、受章消防団員に対し表彰伝達が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことから、1月20日に消防庁長官表彰（永年勤続退団者）受章者8名を代表し元芦別消防団第一分団分団長 松井秀世様、北海道知事表彰の受章者19名を代表し芦別消防団第六分団分団長 川村正洋様へ荻原市長から表彰伝達されました。

また、1月22日に日本消防協会長表彰を受章された芦別消防団副団長 齋藤勉様をはじめ、各消防機関からの表彰受章者49名を代表し、芦別消防団各分団長へ高砂消防団長から表彰伝達されました。

受章された皆さまは、市民の安全安心の確保のため、消防団員として多年にわたり職務に精励されたご功績が認められ表彰されました。



松井秀世様

川村正洋様



高砂消防団長

副団長 齋藤勉様